

適用範囲

ブラストキー工法は、せん断耐力を負担する部位に使用します。(新築、耐震補強、増改築等におけるコンクリート同士の接合面のせん断抵抗要素として使用できます。)

ブラストキーを施工するコンクリート強度は、原則として普通コンクリートで10.0N/mm²以上、軽量コンクリートで13.5N/mm²以上とします。

設計施工体制

ブラストキー工法の設計は、ブラストキー研究会が開催する設計講習を受講した設計者が行います。ブラストキー工法の施工は、ブラストキー専用コアビットを使用し、ブラストキー研究会が開催する施工講習を受講した技術者が行います。

技術性能評価取得

ブラストキー工法は、2019年3月に一般社団法人建築研究振興協会より、技術(性能)評価(BRP-R1803014-ST)を取得しました。

調書 No.16
BRP-R1803014-ST
平成31年3月28日

技術(性能)評価書

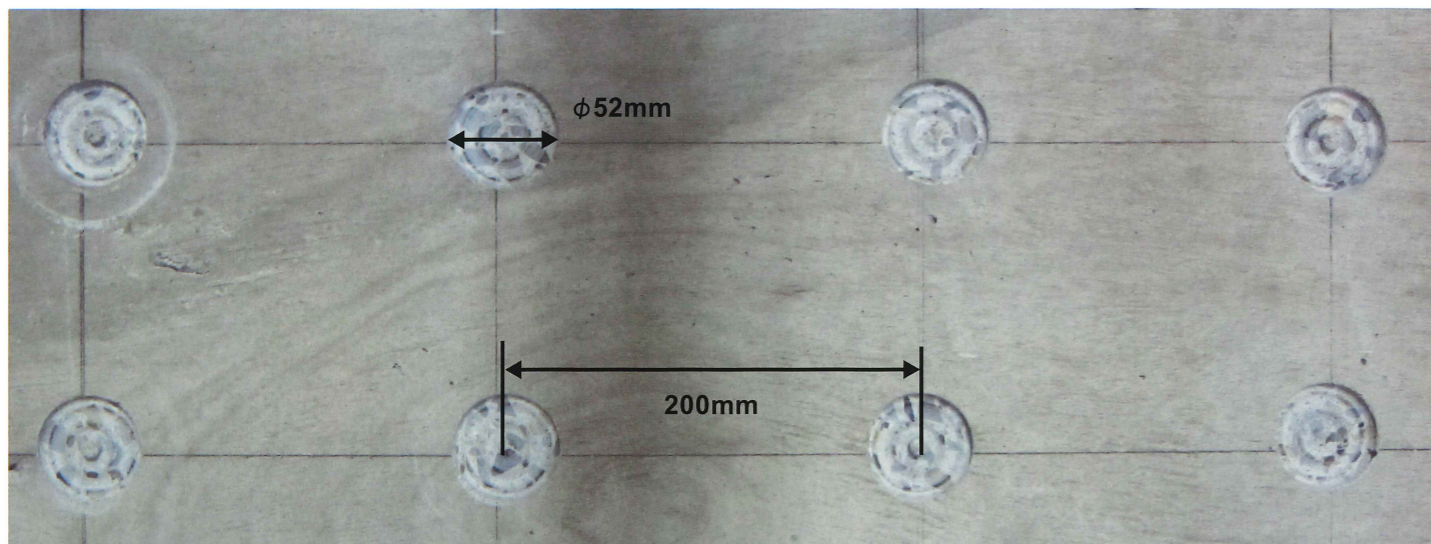
飛島建設株式会社
代表取締役社長 桑京正弘様
東亜建設工業株式会社
代表取締役社長 秋山優樹様

一般社団法人 建築研究振興協会
会長 樹田吉弘

平成30年11月29日付で依頼がありました「ブラストキー工法における設計施工指針の技術性能評価」について、当協会内に設置した技術(性能)評価委員会(委員長:松崎育弘東京理科大学名誉教授)において審査した結果、別紙に示す技術(性能)評価報告書のとおり、本工法はブラストキーを用いてコンクリートやモルタル等の接合同様に作用するせん断耐力を適切に伝達するための接合工法であると評価します。

記

1. 件名
ブラストキー工法における設計施工指針の技術性能評価
2. 技術(性能)評価事項
評価対象となる「ブラストキー工法」の設計・施工指針に示される接合面の設計施工法の適用範囲、設計法、施工法、施工品質管理等の方法に関する妥当性。
3. 評価委員
以下の委員により、評価委員会を設置し本技術の性能評価を行った。
ブラストキー工法における設計施工指針評価委員会
委員長: 松崎 育弘 工学博士 東京理科大学名誉教授
委員: 秋山 友昭 株式会社東京ソイルリサーチ 執行役員
以上



お問い合わせ先・販売元

ブラストキー研究会 事務局

〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル 5F

株式会社E&CS内

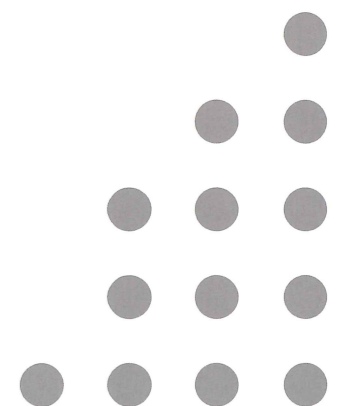
TEL:03-6455-8430

BLAST KEY Method

低騒音・低振動・低粉塵による環境に配慮した次世代型の目荒らし工法

ブラストキー工法

チップングに代わる新しい目荒らし



ブラストキー研究会

Method

いい構造は、いい目荒らしから。これからは、管理のできる目荒らしへ。

ブラストキー工法とは？

「**ブラストキー工法**」は、**低騒音、低振動、低粉塵**で、**環境に優しい、チッピングに代わる新しい目荒らし工法**です。

Advantage 本工法の特徴

建築構造物のあらゆる 接合面に適用可能

耐震補強の鉄骨・制震ブレース等の接合面、増し打ち壁の接合面のみならず、新築・増改築によるコンクリート接合面全般に適用できます。

せん断耐力の 定量評価が可能

技術者の技量に左右されず、一定の形状で施工ができます。そのため、せん断耐力の定量評価が可能となり設計に耐力を考慮できます。

建物を使いながら 施工可能

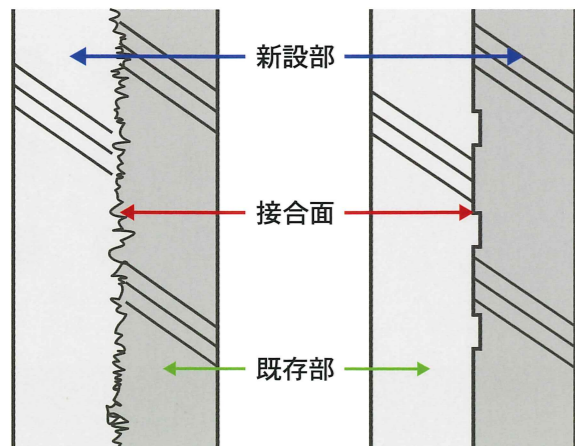
施工時に打撃を与えないため、躯体を伝わる騒音・振動を大きく抑えます。さらに、粉塵はほとんど発生しないため施工現場はクリーンです。

簡単な施工で 容易な品質管理

施工は専用のコアビットで穿孔するだけ。チッピングでは管理ができなかった目荒らし面積を、ブラストキーでは個数で管理することができます。

コンクリート接合で 高い一体性を確保

工法のポイントとなるブラストキーは、コンクリートとの凹凸で支圧抵抗することにより、高いせん断耐力を発揮します。ブラストキーがせん断耐力を負担することで、あと施工アンカーを最大20%削減可能です。

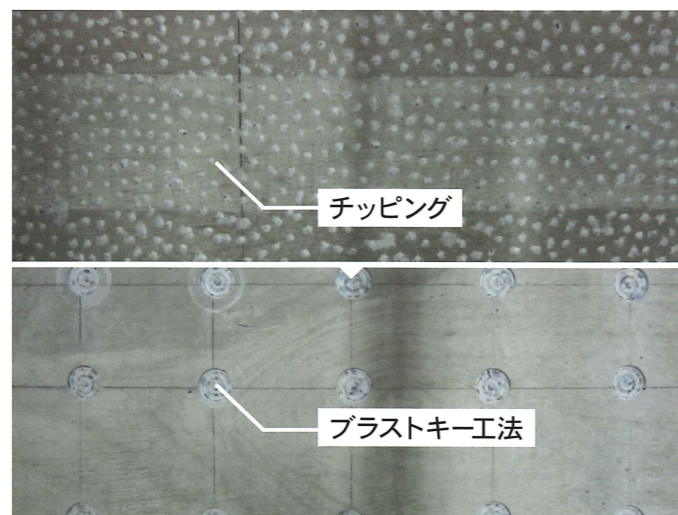


チッピングによる
目荒らしの場合

ブラストキーによる
目荒らしの場合

チッピングからブラストキーへ 置き換えが簡単

簡単な設計手法でチッピング以上の耐力をブラストキーに置き換えができます。



ブラストキーの施工は振動工具を使用しないため、作業者の負担を大幅に抑えることができます。また施工スピードが速いため、工期短縮が期待できます。

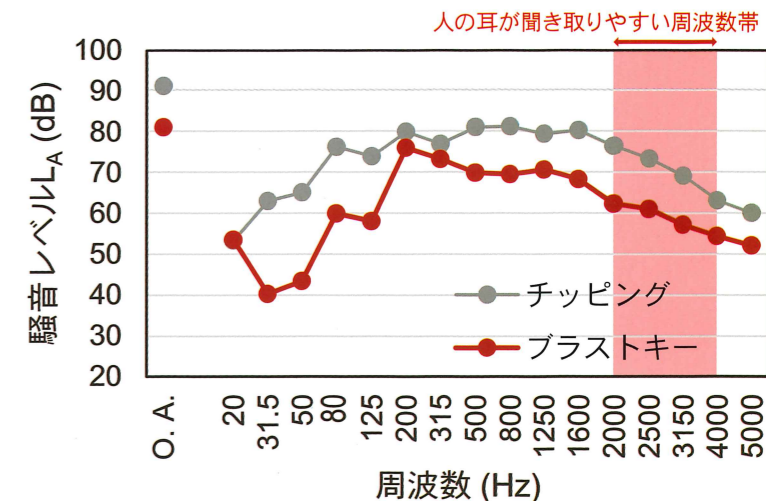
環境に配慮した施工

穿孔作業にコアドリルを使用するため、従来工法（チッピング）に比べて周波数成分で最大約20dBの騒音低減が可能です。

騒音とともに振動を抑制し、発生する粉塵はほぼゼロです。

施工事例 (某小学校改修工事)

学期中の耐震補強工事であり、通常チッピングでは騒音・振動が大きいためブラストキー工法が採用されました。騒音・振動・粉塵を抑えることができ授業に支障をきたすことはありませんでした。



※ O.A. (オーバーオールレベル) での測定値です。周波数分析毎の総和をとった合成レベルをオーバーオールレベルといいます。



ブラストキー工法による施工事例